



図1 2011年4月11日福島県浜通りの地震に伴う地震断層の分布と湯ノ岳・藤原断層に沿った地表変位ベクトル。活断層の分布は、中田・今泉編(2002)による。南東部の約4 km 区間では全区間を連続して踏査し、その他の区間では0.3-1.3 km 毎に地震断層の確認と変位ベクトルの計測を実施した。塩ノ平断層は、石山ほか(2011)が命名。地形基図は、国土地理院発行の5万分の1地形図「平」、「竹貫」、「小名浜」および「川部」を使用した。